

一関市研究開発プラザ



当施設は、新製品や新技術の研究開発などを行うための一関市が貸し出す「貸し研究室」です。
 県南技研は、管理及び研究への支援や協力など、全面的なサポートを行っております。

利用時間	施設利用
24時間365日	研究室 9室
	<ul style="list-style-type: none"> • 39.51㎡×1室 • 26.46㎡×4室 • 37.25㎡×2室 • 27.50㎡×2室

一関研究開発プラザに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

ご案内

ものづくり・技術開発を応援します! 新製品・新技術開発 助成事業

- 新製品、新技術開発事業に要する経費の1/2以内、50万円を限度として補助金を一関市が交付する制度です。
- 一関市内に事業所を有する個人もしくは法人、又は、それらの団体が岩手県南技術研究センターと共同、又は委託により実施する新製品及び新技術開発事業が対象となります。

例) 企業 or 企業グループが県南技術研究センターと共同で研究
 研究費110万円 = 企業負担60万円 + 市補助50万円
 (1/2以内の補助 50万円が限度)

ご利用案内

- 時間……午前9時～午後5時 時間外のご利用はご相談ください。
- 休館日……土・日・祝祭日・12月29日～1月3日
- 駐車場……約30台収容可能

- 施設概要……

敷地面積 / 1,881㎡	延床面積 / 764㎡
構造 / 鉄筋コンクリート造2階建	開所 / 平成7年6月1日
財団設立 / 平成7年4月6日	



鉄道：一ノ関駅 (JR東北新幹線・JR東北本線・JR大船渡線)
 タクシー：一ノ関駅より約3.4km (約7分)
 自動車：東北自動車道一関インターチェンジより約3.5km (約7分)

(公財) 岩手県南技術研究センター



公益財団法人 岩手県南技術研究センター

〒021-0902 岩手県一関市萩荘字高梨南方114番1
 TEL 0191-24-4688 FAX 0191-24-4689
 ホームページ <http://www.sirc.or.jp>

当財団は、「賛助会員」様の会費によって運営されています。

公益財団法人

岩手県南技術研究センター

South Iwate Research Center of Technology

岩手県南技術研究センターは
 地域企業の研究開発力、技術力の向上を応援するため
 岩手県と一関市が施設を整備し
 一関市・平泉町と、企業等により設立された
 公益財団法人 岩手県南技術研究センターが運営しています。

www.sirc.or.jp

県南技研 検索

ものづくり・技術開発をサポートします!

事業案内

《重点3事業》

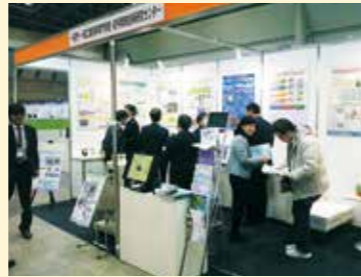
研究開発事業



技術相談・共同研究

地域企業の技術力向上のため、技術相談・試験分析機器の利用開放、分析受託事業を行うと共に、技術開発等を支援するため、新素材応用、環境機能応用などに係わる共同・受託研究開発事業を推進しています。

また、一関市が隣接地に整備した一関市研究開発プラザの指定管理を行うと共に、入居企業の研究開発・事業化を支援します。



企業ニーズ・高専等シーズの把握

一関高専の教員等が行う自主研究や事業化研究会の事業に支援を行うと共に、企業ニーズ・高専等のシーズの把握と情報提供を行っています。

ものづくり人材育成事業



企業の人材育成

急速に進展する技術革新や情報化・国際化等、地域におけるものづくり産業に的確に対応できる人材を育成するため、人材育成事業に取り組みます。

また、一関高専が行う公開講座の支援を行っています。

さらに、各種機器の操作技術等を習得するための技術講習会を実施すると共に、科学の芽を育成するための青少年発明クラブとの共同事業を実施しています。

地域連携事業

企業の地域連携

地域企業間の技術・情報交流を図るため「企業情報交換会」を毎年開催しています。

また、学生の就職支援や若者定住を促進すると共に、地域企業への理解を深めるため、「地域企業情報ガイダンス」を開催しています。

さらに、各種相談会やセミナーの開催など、地域のアクセスポイントとして活動しています。

地域内発型産業の振興

地域の資源や特性を活かして活性化を図るため、企業間連携による新産業・新事業の創出支援、起業・創業支援、農商工連携などの支援を行います。



部門紹介

新素材応用研究部門

新素材に関する研究は、新しい工業技術を生み出す基礎として重要視され、より高機能化が求められています。当部門では、薄膜の試作・評価、真空や不活性ガス、磁場中などの各種雰囲気下における熱処理技術を応用した新素材の開発・研究に取り組んでいます。

当部門では表面観察機器、強度や硬度などの物性評価機器を各種取り揃えており、基礎および応用の面から試作した材料を評価することが可能であり、技術革新への対応と地域産業との連携を目指します。また、これらの機器は利用開放を行っていますので、表面観察、強度・硬度などの物性評価、各種熱処理にご利用いただけます。

■機器一覧

- ・走査型電子顕微鏡
- ・共焦点レーザー顕微鏡
- ・結晶制御育成装置
- ・X線回折分析装置
- ・高真空熱処理炉
- ・レーザー回折粒度分布計
- ・スパッタリング装置
- ・微小硬度測定器
- ・精密万能試験機
- ・小型材料試験器
- ・回転磁場中熱処理炉
- ・超高速昇温電気炉 他



走査型電子顕微鏡

環境機能応用研究部門

RoHS指令などの環境規制をクリアするため、製品設計、製造、品質管理等において、有害物質の確認が必須となっています。これらの規制は、対象物質の拡大や規制値の低濃度化が進んでおります。

自動車、電気製品等に使用されるゴム・プラスチック製品には機械的、熱的、光学的特性に代表される物性を的確に評価する技術が必須であり、製品開発や品質管理においてますます重要になってきています。近年では製品の小型・軽量化に伴い、従来では問題にならなかった微小異物の評価も品質管理の上で重要になってきております。

当部門では、環境管理・品質管理に有用な分析機器を各種取り揃え、自然や人間環境に安心・安全な技術開発支援に取り組めます。また、工業製品のみならず、食品中のビタミンやミネラルなどの分析にも対応する事が可能です。機器の利用開放も行っており、RoHS指令などの重金属分析や異物分析、食品の成分分析等にご利用いただけます。

■機器一覧

- ・フーリエ変換赤外線顕微鏡
- ・蛍光X線分析装置
- ・紫外-可視吸光度計
- ・顕微レーザーラマン分光装置
- ・ICP発光分析装置
- ・ICP質量分析装置
- ・原子吸光度計
- ・高速液体クロマトグラフ質量分析装置 他



フーリエ変換赤外線顕微鏡

科学技術情報研究部門

企業における製品開発は、高品質・低価格・デザイン性など厳しいニーズに対応しなければならない状況となっています。さらに製品開発の迅速性を高めるためCAD技術は企業にとって欠かせない技術となっています。

当センターではCAD設計データを活用した解析、シミュレーション技術であるCAE技術者の育成に取り組めます。



研修風景

参加してみませんか

産学官イブニング 研究交流会

毎月第3水曜日
開催



ものづくりの各分野で活躍中のメンバーと直接話しができる貴重な機会です。是非、ご参加ください。